



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 岩手銀行
コード番号 8345 URL <https://www.iwatebank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長
四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

(氏名) 田口 幸雄
(氏名) 佐々木 泰司
特定取引勘定設置の有無 : 無

TEL 019-623-1111

配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,617	5.4	5,096	15.3	3,681	12.5
2019年3月期第3四半期	36,604	4.4	4,419	35.7	3,272	30.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,932百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 6,643百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	205.98	205.37
2019年3月期第3四半期	182.68	174.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,445,883	202,848	5.8
2019年3月期	3,509,420	200,944	5.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 202,623百万円 2019年3月期 200,735百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		35.00		35.00	70.00
2020年3月期		35.00			
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	0.4	4,300	2.7	239.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	18,497,786 株	2019年3月期	18,497,786 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	844,534 株	2019年3月期	582,641 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	17,875,035 株	2019年3月期3Q	17,912,805 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

※ [説明資料] 2020年3月期第3四半期決算の概要【単体】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の経営成績につきましては、経常収益は、資金運用収益や有価証券関係収益が減少したことなどから、前年同期比19億87百万円減の346億17百万円となりました。

経常費用は、与信関連費用が減少したことなどから、前年同期比26億64百万円減の295億20百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比6億77百万円増の50億96百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同4億9百万円増の36億81百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期の財政状態につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は、公金預金の減少を主因として前連結会計年度末比1,601億円減少し3兆573億円となりました。

貸出金は、法人向け貸出および個人向け貸出が増加したことなどから、前連結会計年度末比170億円増加し1兆8,121億円となりました。

有価証券は、社債等の残高が増加したことなどにより、前連結会計年度末比554億円増加し1兆2,744億円となりました。

(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
現金預け金	394,250	182,721
コールローン及び買入手形	—	75,000
買入金銭債権	5,630	5,241
金銭の信託	12,775	12,780
有価証券	1,219,001	1,274,470
貸出金	1,795,099	1,812,156
外国為替	2,158	2,727
その他資産	62,628	65,684
有形固定資産	16,971	16,552
無形固定資産	1,038	1,086
退職給付に係る資産	4,523	4,815
繰延税金資産	421	416
支払承諾見返	7,828	7,497
貸倒引当金	△12,909	△15,267
資産の部合計	3,509,420	3,445,883
負債の部		
預金	2,953,676	2,918,736
譲渡性預金	263,846	138,661
コールマネー及び売渡手形	2,219	34,424
債券貸借取引受入担保金	6,514	45,651
借入金	42,404	56,561
外国為替	0	15
その他負債	21,007	30,339
役員賞与引当金	25	18
退職給付に係る負債	2,133	2,326
役員退職慰労引当金	18	22
睡眠預金払戻損失引当金	391	199
偶発損失引当金	249	244
繰延税金負債	8,160	8,336
支払承諾	7,828	7,497
負債の部合計	3,308,475	3,243,035
純資産の部		
資本金	12,089	12,089
資本剰余金	5,666	5,666
利益剰余金	154,162	156,586
自己株式	△2,945	△3,732
株主資本合計	168,973	170,610
その他有価証券評価差額金	37,030	37,063
繰延ヘッジ損益	△3,939	△3,831
退職給付に係る調整累計額	△1,327	△1,218
その他の包括利益累計額合計	31,762	32,013
新株予約権	208	224
純資産の部合計	200,944	202,848
負債及び純資産の部合計	3,509,420	3,445,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
経常収益	36,604	34,617
資金運用収益	23,834	22,890
(うち貸出金利息)	13,253	12,970
(うち有価証券利息配当金)	10,532	9,889
役務取引等収益	6,309	6,322
その他業務収益	3,199	3,419
その他経常収益	3,260	1,985
経常費用	32,184	29,520
資金調達費用	954	825
(うち預金利息)	352	311
役務取引等費用	2,418	2,470
その他業務費用	3,667	3,167
営業経費	20,442	19,692
その他経常費用	4,702	3,363
経常利益	4,419	5,096
特別利益	22	81
固定資産処分益	22	81
特別損失	86	130
固定資産処分損	22	74
減損損失	64	55
税金等調整前四半期純利益	4,355	5,047
法人税、住民税及び事業税	1,408	1,289
法人税等調整額	△325	76
法人税等合計	1,083	1,365
四半期純利益	3,272	3,681
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,272	3,681

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,272	3,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,979	33
繰延ヘッジ損益	△149	107
退職給付に係る調整額	212	109
その他の包括利益合計	△9,915	250
四半期包括利益	△6,643	3,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,643	3,932

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当行は、2019年11月8日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、自己株式266千株の取得を行っております。この結果、自己株式が787百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は3,732百万円となっております。

[説明資料]2020年3月期第3四半期決算の概要(単体)

1. 損益の状況

(単位:百万円)

	2020年3月期 第3四半期	前年同期比	2019年3月期 第3四半期
経常収益	31,052	△ 2,028	33,080
業務粗利益	24,932	△ 126	25,058
資金利益	22,316	△ 782	23,098
役務取引等利益	2,771	△ 59	2,830
その他業務利益	△ 155	715	△ 870
(うち国債等債券損益)	138	640	△ 502
経費(△)	18,526	△ 618	19,144
うち人件費	9,748	△ 380	10,128
うち物件費	7,642	△ 225	7,867
実質業務純益 ※1	6,405	492	5,913
コア業務純益 ※2	6,267	△ 149	6,416
除く投資信託解約損益	5,006	△ 56	5,062
一般貸倒引当金繰入額(△)	1,851	390	1,461
業務純益	4,554	102	4,452
臨時損益	568	290	278
うち不良債権処理額(△)	502	△ 1,584	2,086
うち貸倒引当金戻入益	—	—	—
うち株式等関係損益	899	△ 1,729	2,628
経常利益	5,123	392	4,731
特別損益	△ 49	15	△ 64
法人税等	1,246	303	943
四半期純利益	3,827	104	3,723

<単体> ※増減は前年同期比

■経常収益～310億円(△20億円)
資金運用収益や有価証券売却益の減少などにより20億円減少

■業務粗利益～249億円(△1億円)
資金利益の減少などにより1億円減少

■経費～185億円(△6億円)
人件費、物件費の減少などにより6億円減少

■実質業務純益～64億円(+4億円)
業務粗利益は減少したものの、経費が減少したことにより4億円増加

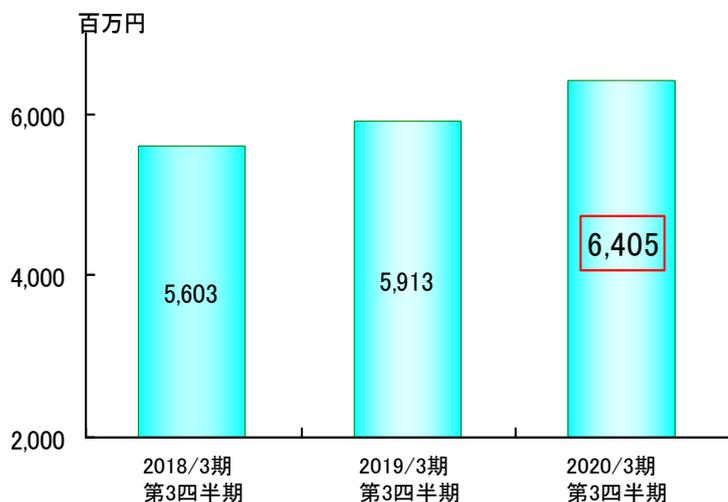
■経常利益～51億円(+3億円)
実質業務純益が増加したことなどにより3億円増加

■四半期純利益～38億円(+1億円)
上記の要因により1億円増加

※1. 実質業務純益=業務粗利益(資金利益+役務取引等利益+その他業務利益)-経費

※2. コア業務純益=業務粗利益(資金利益+役務取引等利益+その他業務利益)-経費-国債等債券損益

実質業務純益の推移(単体)



四半期純利益の推移(単体)



2. 貸出金

貸出金残高は、法人向け貸出および個人向け貸出が増加したことなどにより、前年同期比275億円(1.5%)増加の1兆8,172億円となりました。

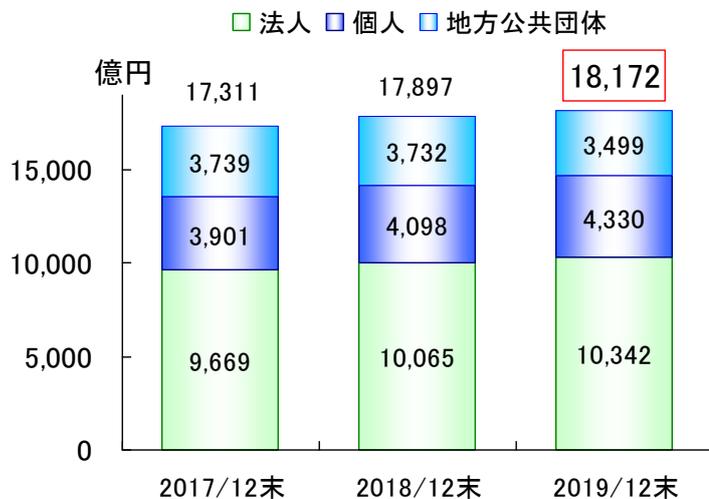
また、平均残高は、同324億円(1.8%)増加の1兆7,880億円となりました。

(単位: 億円、%)

	2017年12月末	2018年12月末	2019年12月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2019年3月末
貸出金末残	17,311	17,897	18,172	275	1.5	17,993
貸出金平残	16,792	17,556	17,880	324	1.8	17,638

※平残は第3四半期(9ヵ月間)の計数

貸出金末残の推移



貸出金平残の推移

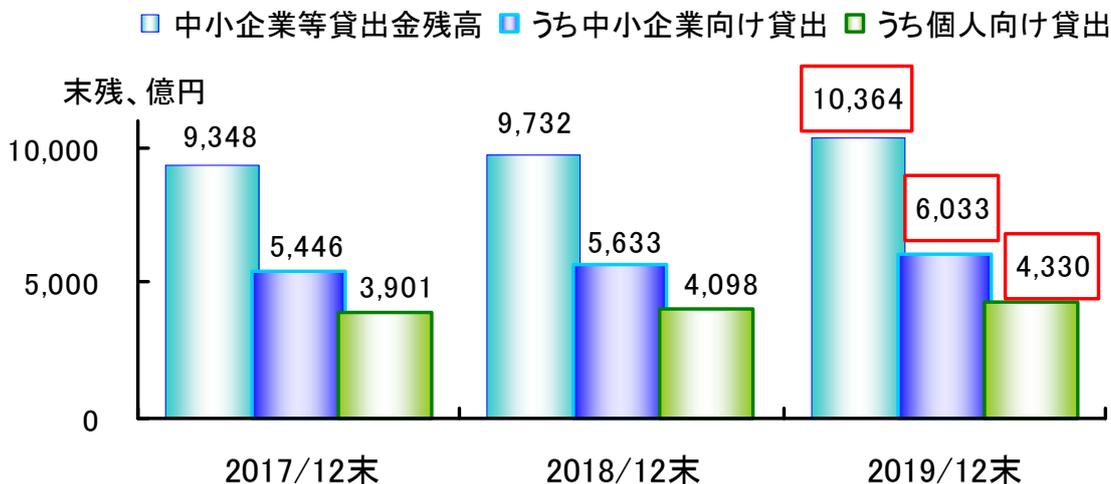


【中小企業等貸出金の状況】

中小企業等貸出金残高は、前年同期比632億円増加の1兆364億円となりました。

このうち、中小企業向け貸出金残高は、前年同期比400億円増加の6,033億円、個人向け貸出金残高は、同232億円増加の4,330億円となりました。

中小企業等貸出金残高の推移



3. 預金等(譲渡性預金を含む)

預金等残高は、個人預金および公金預金が増加したことなどから、前年同期比652億円(2.1%)増加の3兆662億円となりました。

また、平均残高は、同328億円(1.0%)増加の3兆872億円となりました。

(単位:億円、%)

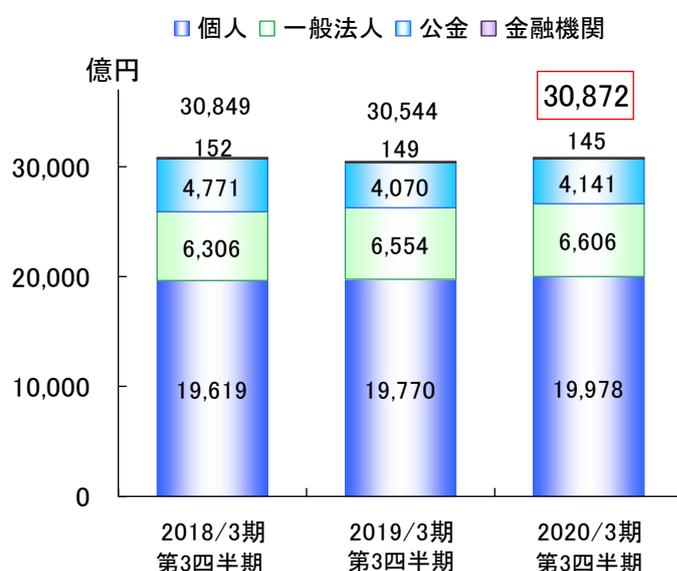
	2017年12月末	2018年12月末	2019年12月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2019年3月末
預金等末残	30,105	30,010	30,662	652	2.1	32,268
預金等平残	30,849	30,544	30,872	328	1.0	30,408

※平残は第3四半期(9カ月間)の計数

預金等末残の推移



預金等平残の推移

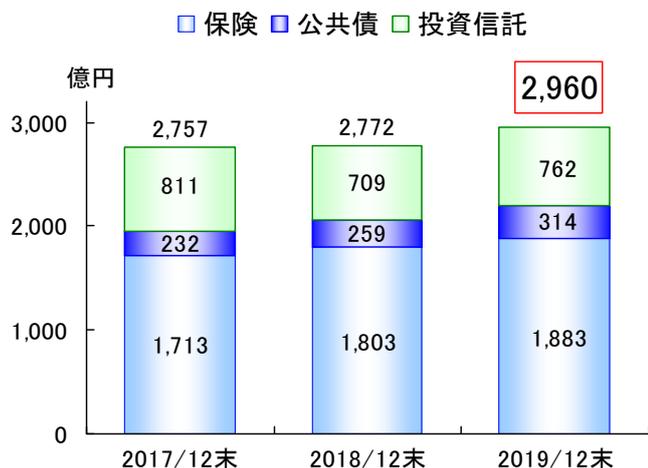


4. 預り資産

預り資産の残高は、保険の増加などにより、前年同期比188億円増加の2,960億円となりました。

また、期中販売額は、432億円となり、前年同期比21億円増加しました。

預り資産残高の推移



※保険については有効契約残高を記載しております。

預り資産販売額

(単位:億円、%)

	2020年3月期 第3四半期 (9カ月間)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
販売合計	432	21	5.1%
投資信託	212	16	8.1%
公共債	76	28	58.3%
保険	143	△ 23	△ 13.8%

5. 有価証券

有価証券残高は、国債等の運用残高が減少したことなどにより、前年同期比242億円(1.8%)減少の1兆2,772億円となりました。

また、平均残高は、同538億円(4.0%)減少の1兆2,663億円となりました。

有価証券末残の推移



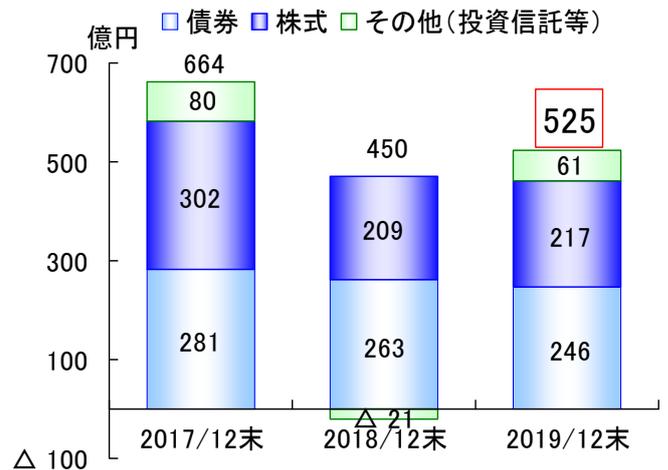
	2017年12月末	2018年12月末	2019年12月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2019年3月末
有価証券末残	13,530	13,014	12,772	△ 242	△ 1.8	12,219
有価証券平残	13,905	13,201	12,663	△ 538	△ 4.0	13,073

※平残は第3四半期(9カ月間)の計数

(1) 有価証券の評価差額(含み益)の状況

有価証券の評価差額(含み益)は、前年同期比75億円増加し、525億円(うち債券246億円、株式217億円、投資信託等61億円)となりました。

有価証券の評価差額(含み益)の推移



(2) 有価証券関係損益

有価証券関係損益は、株式等売却益が減少したことなどから、前年同期比10億円減少の10億円となりました。

(単位: 百万円)

	2018年3月期 第3四半期 (9カ月間)	2019年3月期 第3四半期 (9カ月間)	2020年3月期 第3四半期 (9カ月間)	前年同期比	2019年3月期
有価証券関係損益 A+B	738	2,125	1,038	△ 1,087	3,044
国債等債券損益 A	△ 291	△ 502	138	640	△ 1,025
売却益	237	244	344	100	282
償還益	—	—	—	—	—
売却損(△)	3	79	3	△ 76	79
償還損(△)	525	667	203	△ 464	1,228
償却(△)	—	—	—	—	—
株式等損益 B	1,030	2,628	899	△ 1,729	4,070
売却益	1,086	2,781	1,525	△ 1,256	4,225
売却損(△)	56	122	225	103	126
償却(△)	0	30	400	370	29

6. 与信費用

与信費用は、貸倒引当金繰入額の減少などにより、前年同期比11億円減少の23億円となりました。

(単位:百万円)

	2018年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	2019年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	2020年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	前年同期比	2019年3月期	
与信費用	△ 496	3,547	2,353	△ 1,194		4,134
一般貸倒引当金繰入額	—	1,461	1,851	390		536
不良債権処理額	31	2,086	502	△ 1,584		3,598
貸出金償却	0	0	—	0		0
個別貸倒引当金繰入額	—	2,015	445	△ 1,570		3,496
偶発損失引当金繰入額	11	70	57	△ 13		65
債権売却損	19	—	—	—		35
貸倒引当金戻入益(△)	527	—	—	—		—
偶発損失引当金戻入益(△)	—	—	—	—		—

7. 金融再生法開示債権

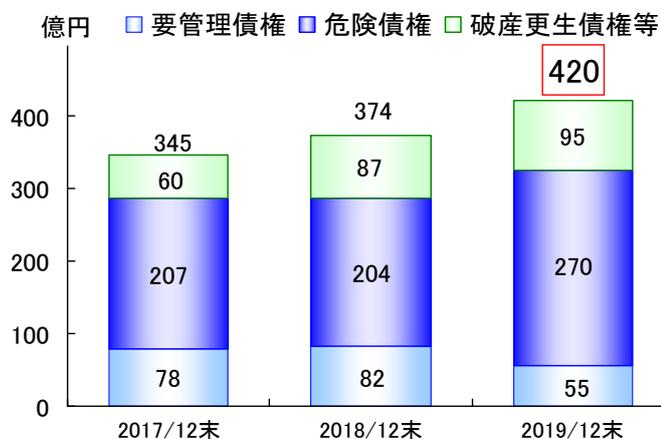
金融再生法開示債権は、前年同期比46億円増加の420億円となりました。

また、不良債権比率は、不良債権残高の増加により、前年同期比0.21ポイント上昇し、2.29%となりました。

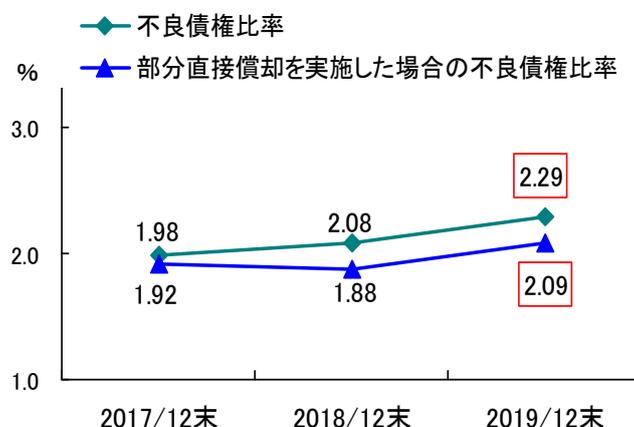
(単位:億円)

	2017年12月末	2018年12月末	2019年12月末	前年同期比	2019年3月期	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	60	87	95	8		97
危険債権	207	204	270	66		237
要管理債権	78	82	55	△ 27		73
合計	345	374	420	46		408

金融再生法開示債権の推移



総与信額に対する比率の推移



8. 自己資本比率

2019年12月末時点の自己資本比率(国内基準)については、現在算出中であり、確定次第、開示する予定であります。